

2026 年度 一般選抜 I 期 数学

▶ 出題の意図

本試験では、高等学校までに学習する数学の基礎的な知識・技能を身に付けているか、また、それらを問題解決に適切に活用できるかを確認します。特に、数学Ⅰ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）で学習する主要な定理や公式について、その意味を理解し、適切に活用する力を重視します。

問1では、各単元の基礎的な内容について、正しく理解し、基本的な計算を正確に行う力を確認します。因数分解、2次方程式の解、無理数の計算、2次関数のグラフの平行移動、三角比の値などを出題します。

問2は、「2次関数」「図形と計量」「図形の性質」に関する定理や公式を理解し、問題に応じて適切に活用する力を確認します。【1】では、定義域が自然数である2次関数について、その性質を活用して最大値・最小値を求める力を問います。【2】では、三角比や図形の性質、三角形の重心に関する知識を活用して辺の長さを求め、さらに外接円・内接円の性質を用いて、それぞれの半径を求める力を確認します。

問3では、「場合の数と確率」に関する問題を出題します。問題文から条件を正確に読み取り、必要な情報を整理した上で、組合せや確率の考え方を適切に用いて問題を解決する力を確認します。